

掘り出したサツマイモを比べる児童たち
—名張市吉原の自然農園おりとで



土から大物が顔!

名張市の自然農園
国津小児童が芋掘り

名張市国津地域の住民ら十人が今年春、地域内に開設した自然農園「おりと」で五日、近くの国津小学校児童三十八人がサツマイモ掘りをした。

「おりと」は同市吉原の休耕田十三畝を代表の井上雅英さん(五七)ら十人が持ち主から借り、畑にした。植え付けや収穫イベントを実施したサツマイモは児童の路上で百円で無人販売している。

「おりと」は同市吉原の休耕田十三畝を代表の井上雅英さん(五七)ら十人が持ち主から借り、畑にした。植え付けや収穫イベントを実施したサツマイモは児童の路上で百円で無人販売している。

サツマイモは、国津小児童に収穫の喜びを体験させようと一部を残した。移植ごと袋を手に農園を訪れた児童たちは井上さんから説明を聞き、全員が畝に沿って並んで丁寧に土を掘った。大きなサツマイモが顔を出す子供たちは友達と比べ、楽しんでた。収穫したサツマイモは児童たちが自宅へ持ち帰るほか、学校給食で食べられる。

(川合止夫)